

2024年
No. 102
4月1日発行

国際こだいら



KODAIRA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION (KIFA)

武蔵美大生と考える
これからの多文化共生を支えるデザインアイデア2月24日(土)
学園西町地域センター

武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科の学生さんたち11人による、多文化共生を支えるデザインのアイデア研究発表会とワークショップが開催されました。4か月にわたってKIFAの様々な事業やボランティア活動を見学し、課題解決のためのデザインを発表しました。久しぶりの晴天に恵まれ、参加者の出足も好調。まず初めに司会進行役の北崎允子先生から簡単な武蔵野美術大学の紹介がされ、現在鷹の台校に通う学生数はなんと4,000人近くだそうです。

そして、研究発表。トップバッターのチームは、外国人が日本で暮らすのに必要な情報を入手するお助けツール、「子育てお悩み Door Q&A」。KIFAの「小学校入学相談会」を見学した際に、参加した外国人が「I don't know anything.」と言っていたことが印象に残り、「何が分からないかも分からない状況」という認識から発想を得たとのこと。校舎の形をした箱に、よくある悩みごとが書かれている9つの棚があり、中にカードが入っています。そのカードには、相談先に関する基本情報が書いてあり、持ち帰ることができるのです。

2番手のチームは、KIFAの生活情報提供チームボランティアが2か月に1回開催する「多文化カフェ」の課題、

参加者のリピーターが少なく交流が深まらないことを解決するための「地球カレンダー」。多文化カフェに参加すると、2か月分の半円形カレンダーをもらえます。裏には参考になるトークテーマが書かれ、12枚集めると地球の形に。2か月に1回だと忘れてしまう人が多いようで、多文化カフェ開催日を「地球カレンダー」に印して可視化することにより思い出してもらえます。カフェへ何度も参加すれば、交流も深まるでしょう。

3番手はKIFAの日本語会話教室に来る外国人が通い続けるように応援する「NIHONGO WALK Kodaira」。KIFA周辺の地図の上にお店や病院等の写真のカードが乗っており、カード裏面には、その施設の情報が書いてあります。したいことと行き先をマッチングさせるゲームを通して、地域と日本語に親しみを持つことができます。どれもユニークですばらしい作品に、参加者からは惜しみない称賛の声が上がりました。

最後に、参加者全員が輪になって座り、「これからの国際交流や多文化共生に向けて必要なこと・やりたいこと」をテーマに各自熱く述べて終了。若い力の可能性と未来を体感したワークショップでした。





ホームビジットプログラム

体験者からの感想



ホームビジットは、日本の家庭を訪問したい外国人を KIFA ボランティアの家庭が受け入れ、半日程度の交流をするプログラムです。コロナ禍で休止していましたが、2023 年度から再開しました。ホストファミリーは、KIFA ボランティアとして日頃より活動している方のご家庭から募集しています。

【ゲスト】



◆ Yang Yiping さん
(中国出身・一橋大学大学院生)

This is really a precious experience in Japan for an overseas student and this home visit was the first time for me to go to a Japanese house to spend time with Japanese people. The host family was so nice. A-san prepared a lot of Japanese food and also Japanese tea for us. We really had a great time together! I am so appreciative of their kindness, hospitality and generosity. They are such wonderful host!
(原文ママ)

ホームビジットは海外留学生にとって貴重な経験で、私は今回初めて日本の家庭で日本人と一緒に時を過ごすことができました。ホストファミリーはとても感じが良く、Aさんはたくさんの日本の食べ物と抹茶を点(た)ててくれたのです。一緒に楽しい時を過ごし、ホストファミリーの温かいおもてなしに心から感謝します。Aさん家族は素晴らしいホストです。
(日本語訳文)

Bさん一家はとても親切で、私は彼らと素晴らしく充実した午後を過ごしました。私たちは一緒にたこ焼きを作ってランチにし、中にはソーセージ、もち、チーズ、コーンなどさまざまな材料を入れました。子どもたちもとても元気で可愛く、私のために歓迎の旗と日本クイズのスライドを作ってくれて、感動しました。私はBさん一家と一緒にジェンガや人狼ゲームなどたくさんのゲームを楽しみにしていました。私の日本語は流暢ではありませんが、彼らはとても優しく話しかけてくれました。

一緒に過ごした時間をとても楽しんでいました。また、国際学生のためにこのイベントを準備してくれた KIFA にも感謝します。日本の家族に出会う貴重な機会を与えてくれて本当にありがとうございます！(原文ママ)



◆ 許庭瑄 (ティファニー) さん
(台湾出身・一橋大学交換留学生)

【ホスト】

◆ Jさん (本人・配偶者・こども2人で受け入れ)

これまで、留学生との交流の機会がなかったので、私達家族にとっても貴重な経験でした。Cさんは、アメリカと日本の学校行事の違いや子ども達の興味関心、また日本の政治にも関心を持っていて、色々質問をしてくれました。彼女の視点は、私達にとっても新鮮で、発見がありました。次男の誕生日を一緒にお祝いしてもらい、長男とは漫画の話で盛り上がりました。帰国直前だったので、交流の機会を継続して持つことが出来ないのが残念でした。

多文化共生の句



難しい
言葉はポイして
高尾山
目指せ 楽しめ
自然な交流
まぶちゃん

調理室
世界の味の
交差点



半々

小平市日本語発表会

2023年12月10日(日)
中央公民館2階ホール

昨年の師走、第9回小平市日本語発表会が開催されました。

最初は、中国の王龍(オウ・リュウ)さんによる「僕の日本生活と日本語学習」について。言葉の壁は厚かったそうですが、先生のサポートやアプリを使って単語を覚えたりして徐々に進歩したそうです。一番感じたことは、「失敗は成功の元」、経験から学び、今後は新しい挑戦をしたいとのことでした。

2番目は、フィリピンの国米(こくまい)マルセリーナさん。「にほんでやりたいこと」です。日本には35年、小平は3年在住しており、夫と旅行に行くのが大好きだそうです。これからも続けていきたいと、夫との仲良さそうな写真も見せてくれました。

3番目は、中国の王伯承(ワン・ボーチェン)さん。「私の日本語学習方法」についてでした。ユニークだったのは、日本語学習の効果的な方法として、電車のアナウンスを聞く、ということ。おなじみの電車内でのアナウンスを何種類も披露してくれ、聞いているほうは爆笑でした。

4番目は、フランスのジュリ・アルダルさんによる「テニスとその四大大会」について、その歴史や特徴を解説。ファンの間では、フェデラー、ナダル、ジョコビッチの誰が偉大かが議論されていることなど、自身のテニスへの熱い思いを語りました。

5番目は中国の付佑天(フ・ユーテン)さん、「日本語ボランティア教室の効用」についてです。昨年春日本に来て、3月に帰る交換留学生です。日本語教室には4

か所通い、先生とはマンツーマン、半年経つとヒアリングができるようになり、コンビニでのアルバイトで会話もよくできるようになったそうです。

6番目は、ベトナムのレ・ティ・ズエンさん。「上水南町まつりに参加して」の話でした。日本に来て5年。日本語検定1級(日本語能力試験JLPTのN1)を目指し勉強中。まつりでは、夫にも手伝ってもらい、スープと春巻きのベトナム料理を出しました。好評だったのがうれしかったとの感想でした。

7番目もベトナムのグエン・ディン・ズンさんの「日本の経験」。香川県で働き始めた時、買ったばかりの車でたんぼに落ちてしまい会社の上司や同僚の助けで事なきを得た経験をユーモラスな口調で話しました。

最後は、中国の薛雅文(セツ・ガブン)さん、「日本での学びの旅10年」についてです。4年前大学院博士課程を修了し日本企業に就職。人工知能の研究をしています。この間、13の国を訪れ、様々な経験をしました。今は育児で多忙な生活ですが、今後も研究を続け「もっとほかの世界を見たい」そうです。

各人の発表は、それぞれ内容に工夫を凝らした興味深いものでした。



参加者のみなさん

フィリピン料理を作りますか 世界の料理講座

2月8日(木)
学園西町地域センター調理室

令和5年度3回目の講師は、本紙99号でも紹介している通訳ボランティアの浅井リサさんです。

まずは、いま東南アジアで大人気のデザート「ブコパンダン」。タピオカ、ココナツの実、ナタデココ、そして香りのよい「パンダンの木の葉」を使ったゼリーを練乳と生クリームで混ぜ合わせます。スライスチーズを細く切って入れるのも美味しさの秘訣です。

出来上がったデザートを冷蔵庫で冷やし、次は参加者全員でバナナを春巻きの皮で巻いて、フィリピンのおやつ「トロン」を準備します。

いよいよフィリピン家庭料理の定番、鶏胸肉を使った「ソーパス」です。鶏肉をゆでている間に別の鍋でまず玉ねぎをよく炒め、エルポー・マカロニ、ニンジンなどを混ぜ入れ、水を足して煮込みます。ゆであがった熱々の鶏肉も細かく切って入れ、ナンプラー(魚醤)や塩コショウで味付け。煮込む間に鶏肉のゆで汁を何度もつぎ足し



ます。決め手のエバミルク(無糖練乳)を混ぜ合わせ、短冊に切ったキャベツを散らし完成です。この間、別のフライパンで春巻きを揚げて「トロン」も出来ました。

今回の参加者は定員いっぱいの7名。KIFA会員4名と日本語会話教室学習者の中国人女性1名に、公民館でミニレターを読んだ一般市民の方が2名です。お母さんの応援に来たりサさんの娘さんと世界の料理紹介グループボランティア3名を足して総勢12名。参加者の交流を深めるには良い規模ですが、調理スペースはもう少し広い方が活動しやすいようです。

みんなで食事した感想は、「フィリピンの家庭の味に感動」して3杯お替りした男性参加者をはじめ「スーパーの食材で作れるのでぜひ我が家でも」と話す女性参加者など。とてもおいしかったです。

5月から開講されるタガログ語講座はリサさんが講師を務めます。乞うご期待!



多文化カフェ

1月21日(日)

生活情報提供チームは2ヶ月に一度、外国人が気軽に話せる場として多文化カフェを開いています。最近ボランティアにアメリカやドイツ、ベトナム、中国出身の人が加わり、外国人の立場からも企画を考えられるそうです。多文化カフェの参加者は、家族で来る人や留学生などで、時期によっては大勢の留学生が来てくれるとか。この日は、中国出身の大学生2人、ボランティア希望の中国人女性、アメリカ人と日本人のご夫婦が参加しました。

まず最初に、今回のタイムテーブルの説明があり、生活情報提供チームが発信しているInstagram『こだいらライフ』や、近場のおすすめカフェの紹介がありました。ゴミを出すときの分別の仕方の説明もあり、全て日本語と英語で行われました。その後しばらくはテーブルごとのフリートークで、日本語習得に関する話や、好きなアニメの話をしていました。就職に関する話をしているグループもあり、日本の企業で働いているボランティアの意見を、学生が真剣に聞いていました。

途中、スライドを使って『日本の一月』の文化紹介があり、年越しそばを食べる風習や、おせち料理にはそれぞれ願いが込められていることが伝えられました。置いてあった料理の写真に興味深く見る参加者もいました。

そして後半、飲み物やスナックを片手に立ち話をしている姿が目立ちました。地域の話から、同じ国出身の参加者は同郷だと分かり、盛り上がっていました。終了時間になっても、しばらく立ち話は続いていました。

カフェ内での会話は、主にやさしい日本語と英語で行われており、日本語の場合は特に、ゆっくりはっきり話しているボランティアが印象的でした。多文化カフェをきっかけとして、今後楽しく過ごしたり、何か困ったときなどに助け合えるような、温かい繋がりができることを期待しています。



編集後記

気が付けば、KIFAでボランティアを続けて10年。大学時代に卒論制作でKIFAを訪れたのが約30年前。どちらかという好きな時に参加する、ゆるボランティア。父の看取り、育児や仕事の合間に断続的に参加してきました。こうやって地域で戻って来られる場所があるっていいですね。そろそろ世代交代をと思いつつ、KIFAの活動の認知普及にお手伝いできたら嬉しいです。(K.H.)

これからの行事予定

今年度、前期スタートの講座は下記を予定しています。

- | | |
|-----------------|-----------|
| ◎日本語会話教室 | 月・木・金・土曜日 |
| ◎こども日本語・学習支援教室 | 水曜日 |
| ◎英会話教室(初級~中上級) | 月・水・木曜日 |
| ◎タガログ語会話・文化体験講座 | 金曜日(5月開始) |
| ◎フランス語講座(初中級) | 金曜日(5月開始) |

※詳しくはKIFAミニレターおよびwebサイトをご覧ください。

2024年度は 次のような事業を行います

I 多文化共生の推進に関する事業

日本語会話教室、日本語発表会、こども日本語・学習支援、翻訳や通訳サービス、災害時の外国人支援 など

II 国際交流に関する事業

各種交流イベント

III 国際理解に関する事業

国際こどもクラブ、世界の料理紹介、多文化理解講座、語学講座 など

IV 情報収集、調査研究及び広報

機関紙(年3回)・情報紙(年10回)の発行 など

V その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

ボランティアグループ紹介

内容ごとにグループに分かれてボランティア活動をしています。ボランティアは常時募集しています(日本語会話教室を除く)。詳しくはHPをご覧ください。

- ◎日本語会話教室(月・金・土の各グループ)
- ◎保育グループ
- ◎こども日本語・学習支援教室グループ
- ◎翻訳・通訳グループ
- ◎生活情報提供チーム
- ◎災害時対応チーム
- ◎交流イベント(企画運営)グループ
- ◎国際理解講座グループ
- ◎世界の料理講座グループ
- ◎機関紙グループ

会員種別(個人)のご案内

- ◎普通会員(ボランティア活動をする方) 年会費 3,000円
- ◎学生会員(ボランティア活動をする18歳以上の学生) 年会費 1,000円
- ◎賛助会員(資金面で支援してくださる方・講座の受講生など) 一口 2,000円

※団体会員や法人会員についてはお問い合わせください。



発行日 2024年4月1日
発行 一般社団法人
小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ
〒187-0045
小平市学園西町2-12-22
学園西町地域センター 3階
TEL. 042-342-4488・7509
FAX. 042-347-3003
Eメール: info@kifa-tokyo.jp

